

令和4年2月18日

保護者の皆様

仙台市立住吉台小学校
校長 阿部 千幸

協働型学校評価及び学校の教育活動アンケートについて(ご報告)

春寒の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、御理解と御協力を賜り、深く感謝いたします。

さて、本年度の取組に関する標記アンケートの結果をご報告いたします。協働型学校評価の重点目標をはじめとして、本校の教育活動全般について、御多用の中、丁寧な評価とお励ましをいただきました。次年度の目標設定と計画作成に生かして参ります。

令和3年度 協働型学校評価の重点目標

- あたたかなかわりで自己肯定感を高めよう
- いろいろなジャンルの本を40冊以上読み、心を耕そう

アンケート結果から(概要)

協働型学校評価の重点目標に関しましては、児童・保護者・地域という3者のアンケート結果から、人との関わりを大切にしようとする気持ちや態度が、本校児童の中にしっかりと育ってきていることが確信できました。そこには、御家庭や地域の皆様による、学校を取り囲む温かな住吉台のコミュニティがそれを支えてくださっているということがあります。

一方、読書を通して豊かな人間性を獲得していこうという取組は学校内では根づきつつあるものの、場所や時などを選ばない自発的なものとしての定着には、さらなる取組の継続や環境づくりの必要性が感じられました。

以上のことを踏まえて、令和4年度へ向けての目標設定と手だての模索を行って参ります。引き続き御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

なお、アンケート結果の詳細につきましては、以下の資料を御覧ください。

「児童アンケートの結果から」
「保護者アンケートの結果から」
「地域アンケートの結果から」

令和3年度の本校の取組を Youtube でもご報告しています。どうぞ、こちらの QR コードから御視聴ください。



[<https://youtu.be/tPZX8nt2N70>]

また、皆様から頂戴した評価や御意見は今後の学校運営に生かせるように努めて参ります。御協力まことにありがとうございました。

令和3年度 仙台市立住吉台小学校

協働型学校評価及び教育活動アンケートの結果

児童アンケートの結果から …… p.1

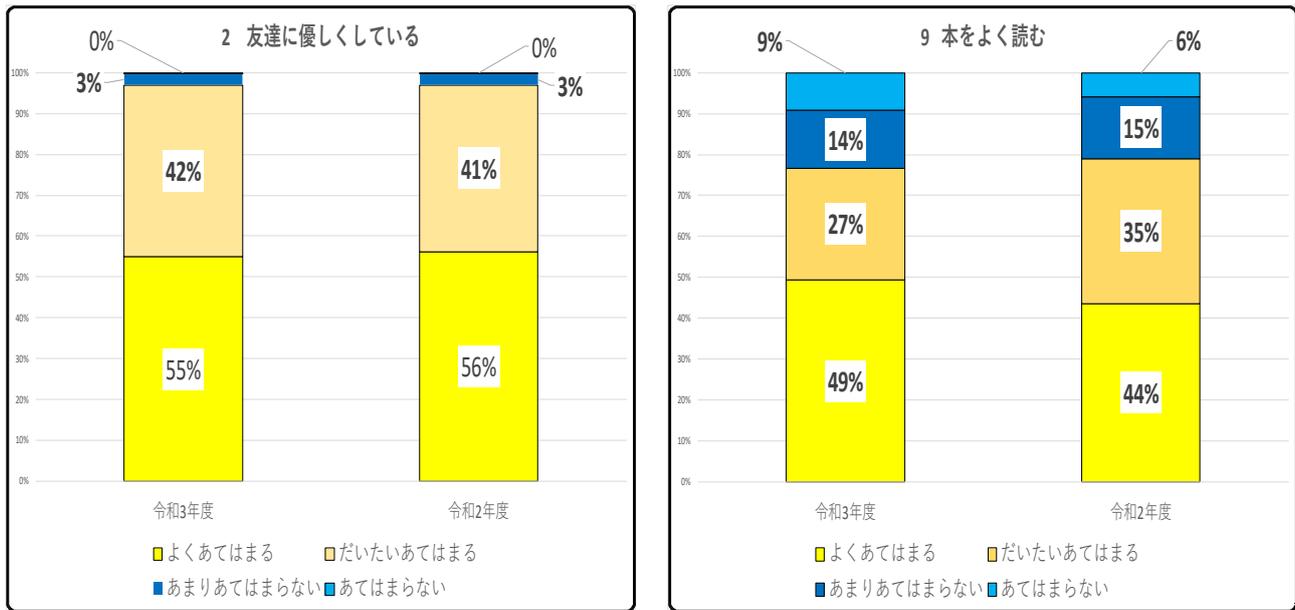
保護者アンケートの結果から …… p.5

地域アンケートの結果から …… p.11

児童アンケートの結果から

回答数331

協働型学校評価の重点目標について



※ () 内の数値は「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」という肯定的評価の割合です。

◇「2. 友達に優しくしている」(97%)

昨年度同様に、人とのかかわりを大切にしようという気持ちが育っています。「あたたかい心」をテーマとして取り組んできた、本校の道徳教育への取組が浸透してきたものと考えます。

◇「9. 本をよく読む」(76%)

年度途中(11月時点)での評価のため、まだ年間目標には到達していないということが、この数値にとどまっている一因と考えられますが、協働型学校評価の重点目標となっている点で残念です。読書の環境は整えられているので、その有効性を児童に実感させられるような一層の指導・仕組みづくりに取り組んでいくことが必要と考えます。

○全体的な結果から

1~15いずれの質問に対しても、それぞれ「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」という肯定的な評価が占める割合が高いものになっていました。昨年度の結果と比べても、その傾向に顕著な変化は見られず、児童は安定した学校・家庭生活を送っていること、そして自己肯定感の高まりがうかがえます。

◎成果と考えられる事柄

「4. 分からないことは質問する」(86%)

昨年度のそれと比較しても学習への意欲の高まりが見られます。基礎・基本の徹底を図り、専科や少人数といった個に応じた指導の充実により、多くの児童に学びの楽しさを感じさせることができたものと考えられます。

「10. 安全に気をつけて登下校する」(98%)

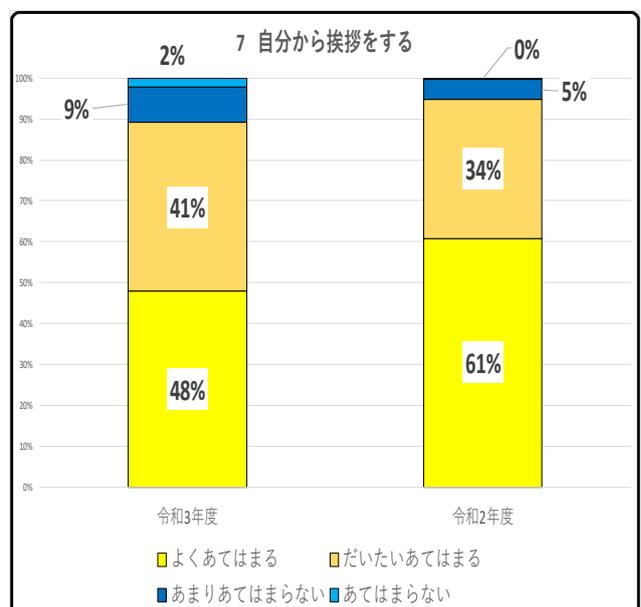
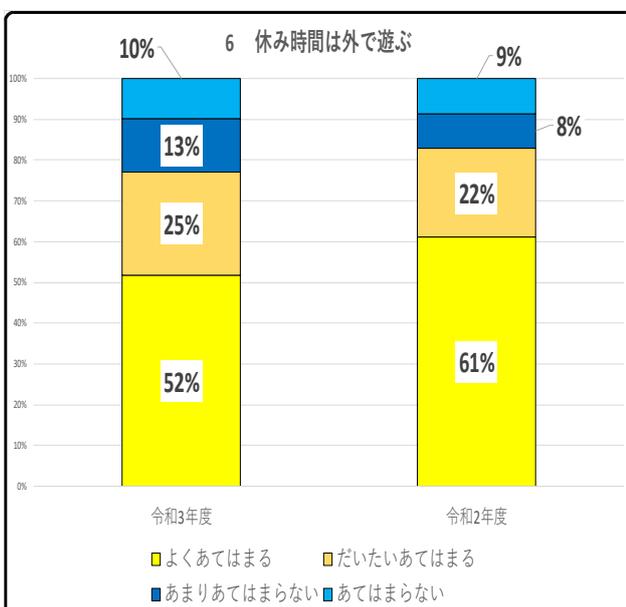
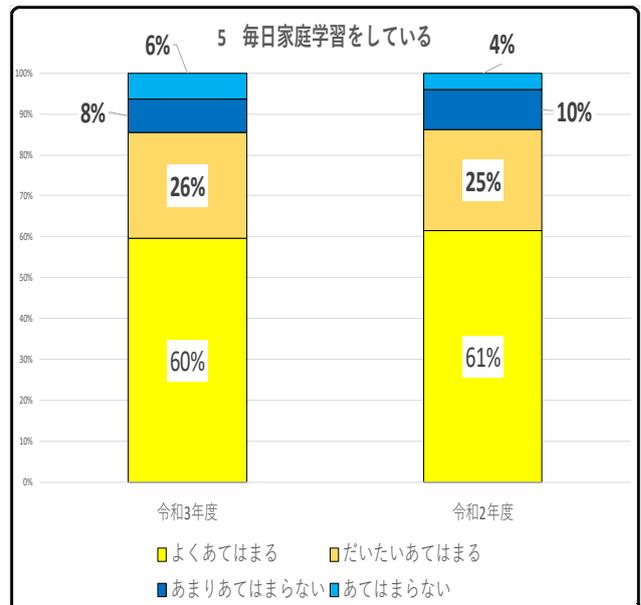
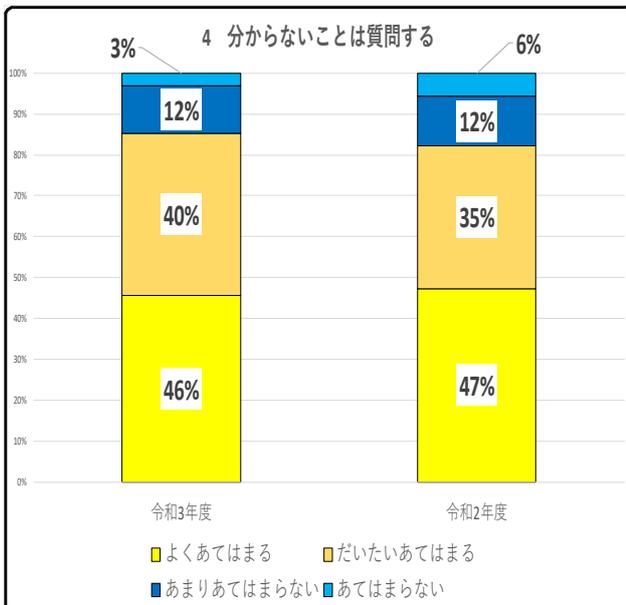
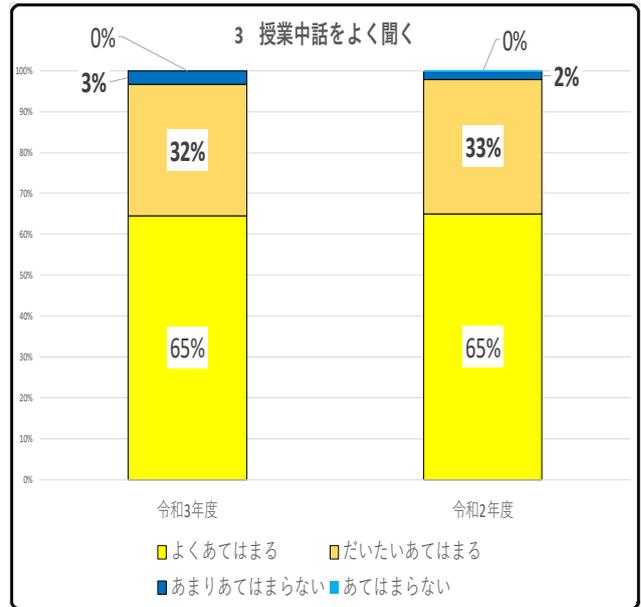
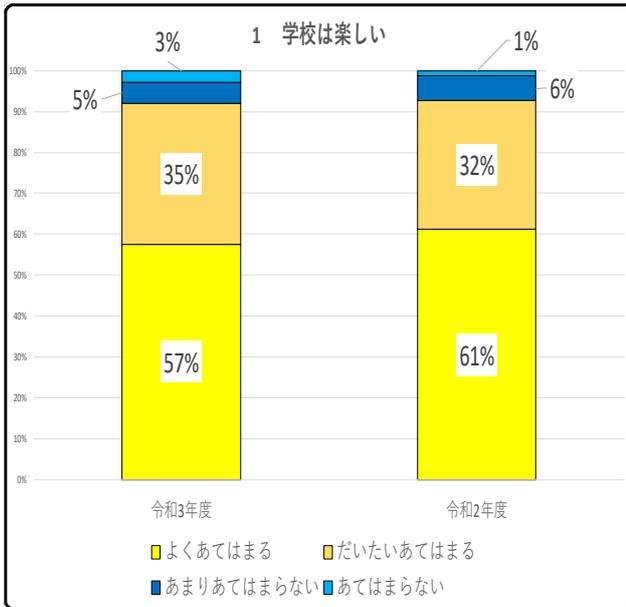
安全に関する意識が非常に高くなっています。学校のみならず、日頃から保護者の皆様や地域ボランティアの方々による見守りがあり、自分の身を守ることの大切さを実感できていることが、自らの安全意識の向上にもつながったものと考えます。

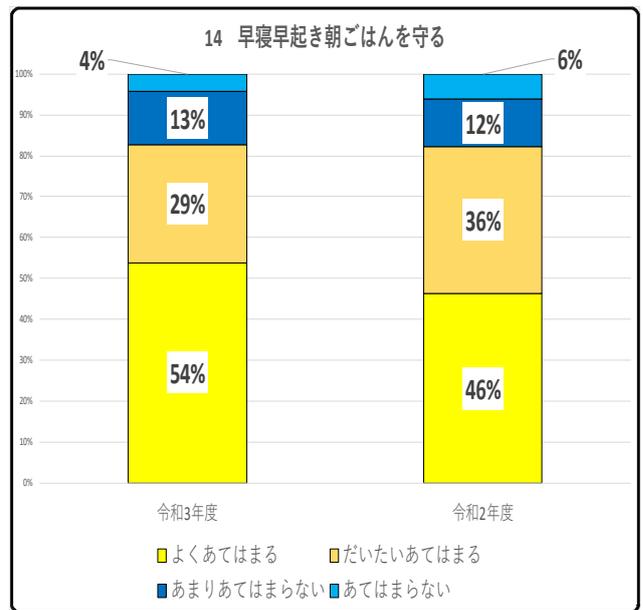
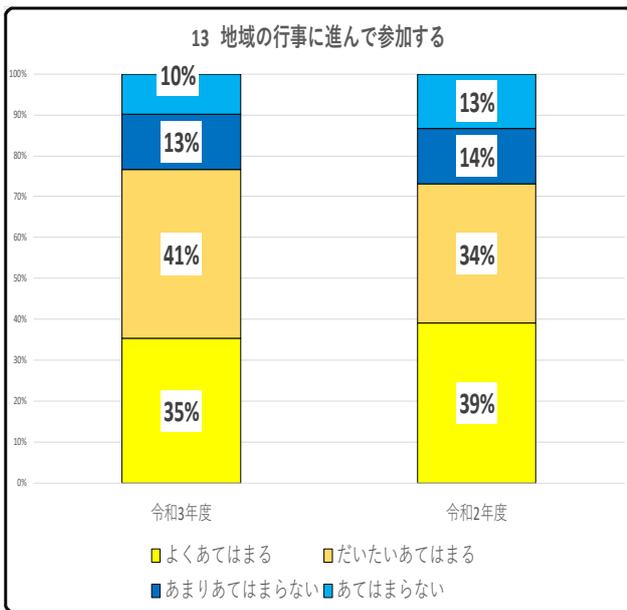
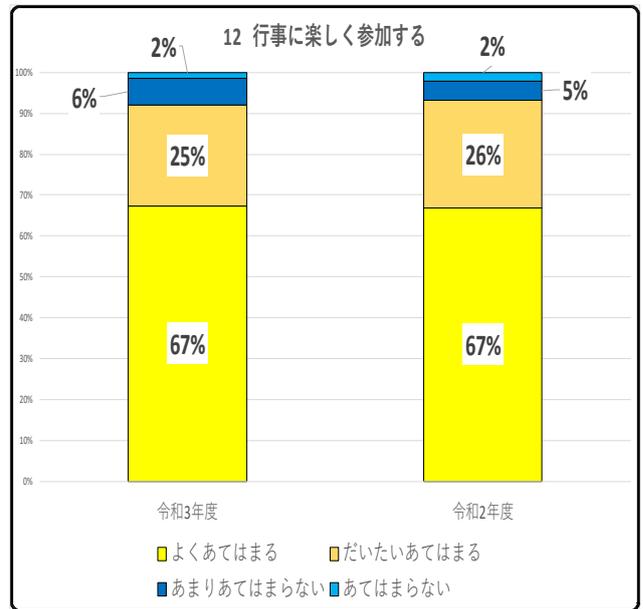
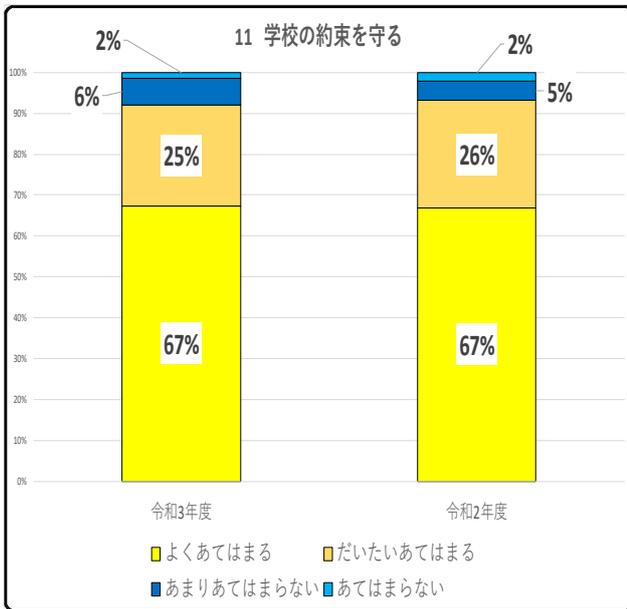
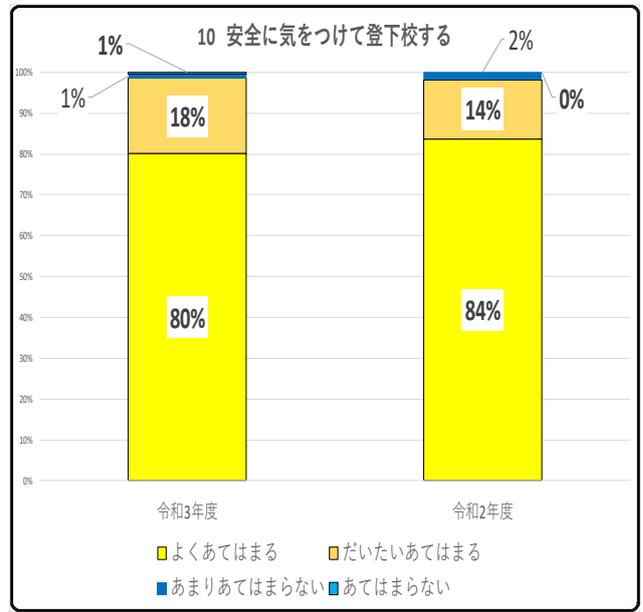
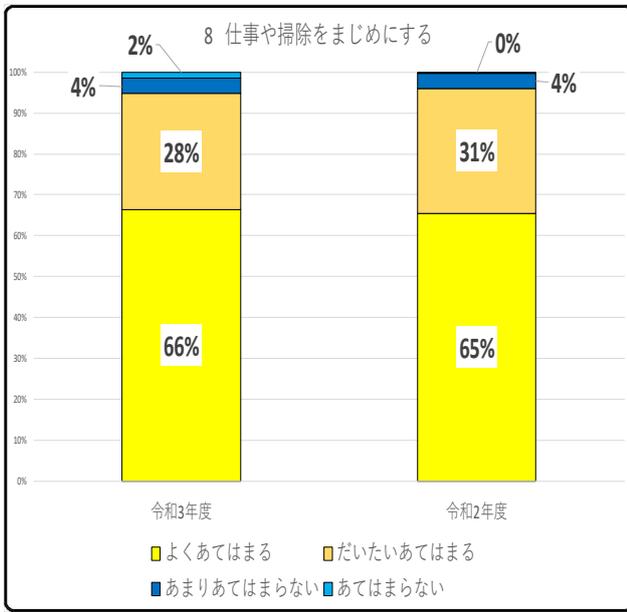
●今後に向けて力を入れたい事柄

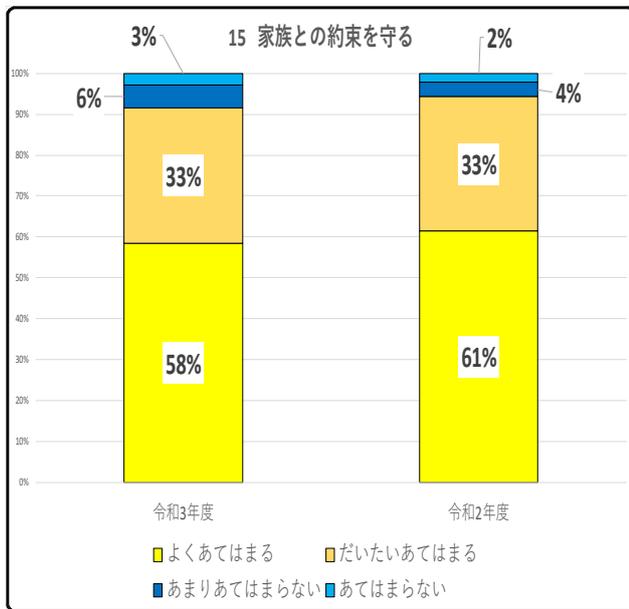
「13. 地域の行事に進んで参加する」(76%)

コロナ禍にあり、参加対象となる行事自体が少ないための結果と考えられます。これは、

地域行事に限ったことではありませんので、各種行事の内容や持ち方について、コロナ禍以前とは異なる新しい生活様式の中で、新たなスタイルを模索・確立していくことが求められます。





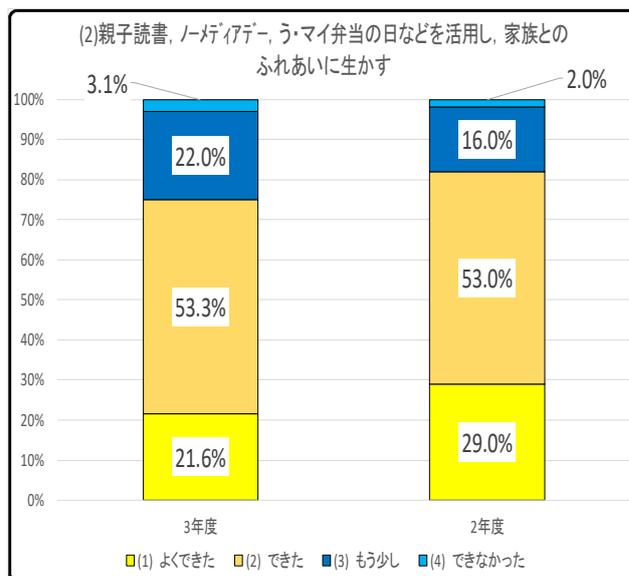
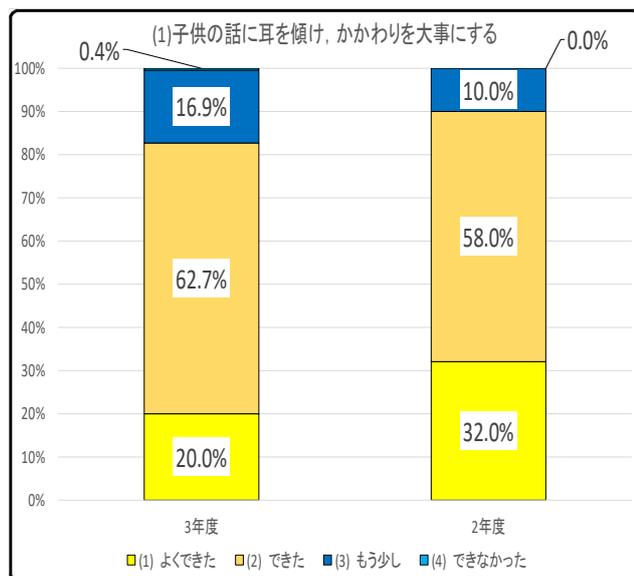


保護者アンケートの結果から

回答数231

1 協働型学校評価の重点目標について

～御家庭での取組～



※()内の数値は「とてもそう思う」「そう思う」という肯定的評価の割合です。

◇「(1) 子供の話に耳を傾け、かかわりを大事にする」(82%)

御家庭で時間をつくり、じっくりと子供たちの言葉に耳を傾けてくださったり、家庭で学習する姿に励ましの言葉を掛けてくださったりしていただけました。

◇「(2) 親子読書・ノーメディアデー、う・マイ弁当の日などを活用し、家族とのふれあいに生かす」(75%)

学校より提案させていただいた各種の取組とその意図について御理解をいただき、多くの御家庭より御協力をいただくことができました。

2 学校の教育活動について

○全体的な結果から

いずれの項目に関しても学校の取組について肯定的な評価をいただきました。学校からの情報発信が限られた方法になる中で、また、従来通りの方法での取組が難しく、試行錯誤を迫られる現況下において、その取組に励ましをいただけたこと、大変心強く存じます。

◎成果と考えられる事柄

「(9) 安全な活動のため危機管理に努めている」(95%)

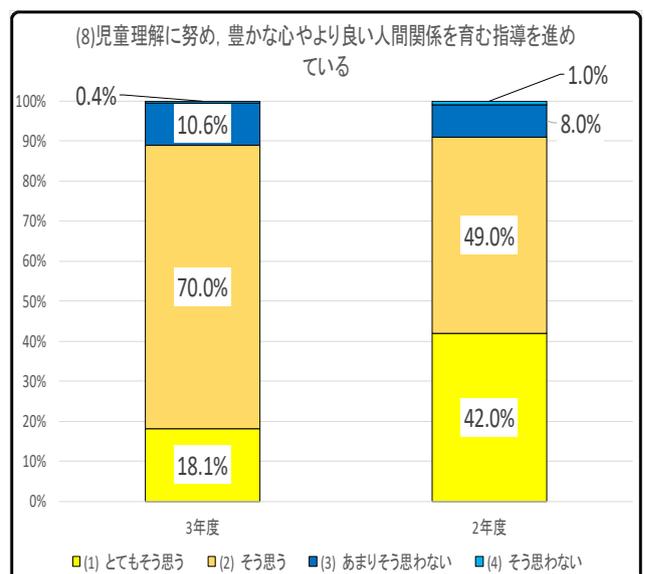
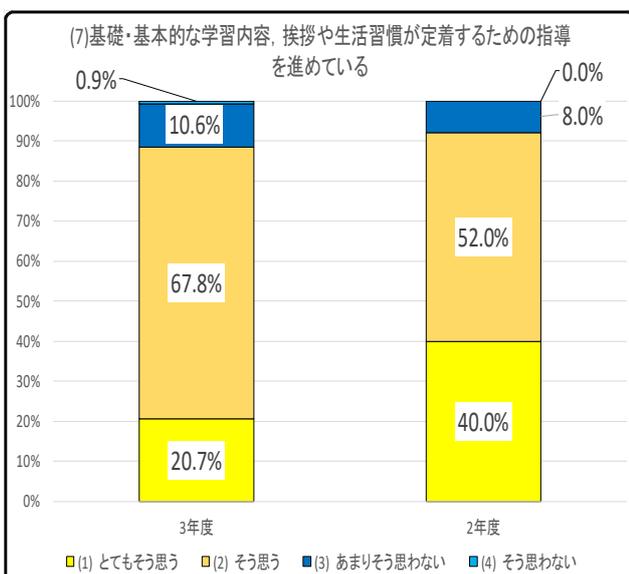
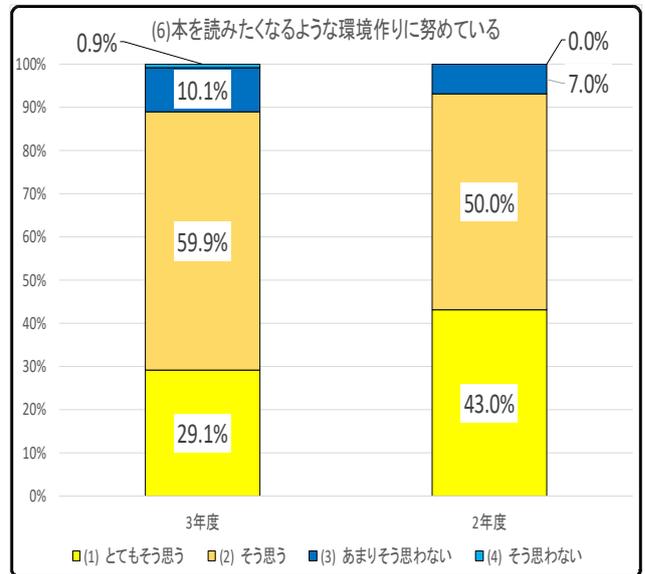
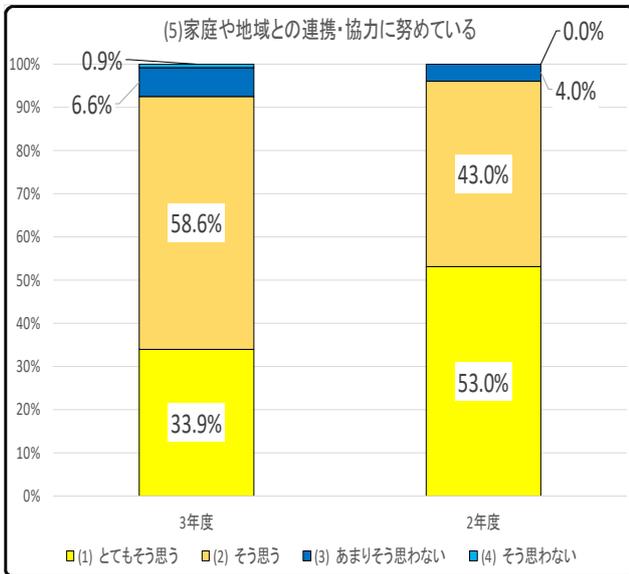
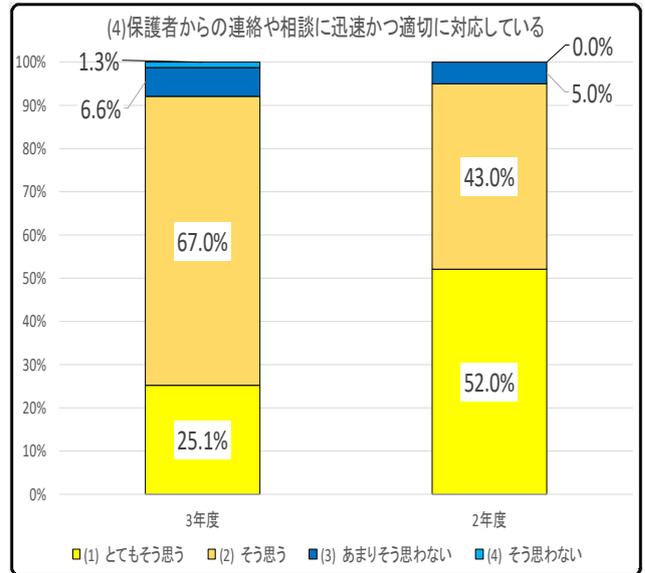
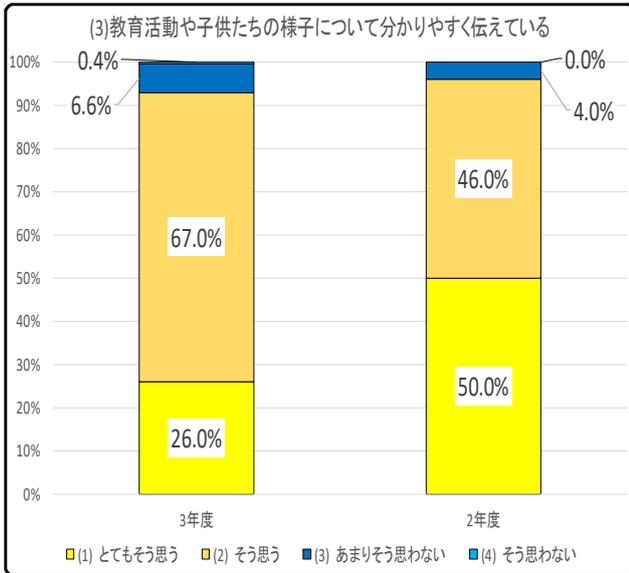
コロナ禍における感染予防をはじめとする、新しい生活様式での学習や生活を定着させるための校内環境の整備、また、安全指導の徹底により、校内での感染拡大や重大な交通事故の発生などを防ぐことができました。

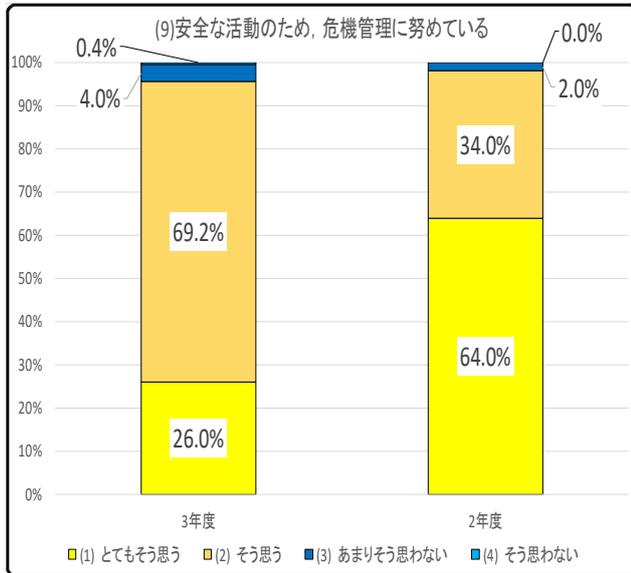
●今後に向けて力を入れたい事柄

「(7) 基礎・基本的な学習内容、挨拶や生活習慣が定着するための指導」(88%)

「(8) 児童理解に努め、豊かな心やよりよい人間関係を育む指導」(88%)

いずれも、他の項目に比べて、ややではありますが、課題ありという評価をいただいています。この点につきましては、協働型の教育目標と直結した部分ですので、次年度の目標設定と併せて、従来の取組を見直し、一層の向上が図れるようにして参ります。





3 児童のようすについて

◎成果と考えられる事柄

「(11)毎日宿題等の家庭学習に取り組んでいる」(93%)

家庭で学習に取り組む姿勢が定着することで、学習内容の理解が進み、成果が出ることで、新たな課題や目標への意欲が喚起されるという、学力向上へ向けた好サイクルが形づくられつつあることがうかがえます。御家庭での励ましに感謝申し上げます。

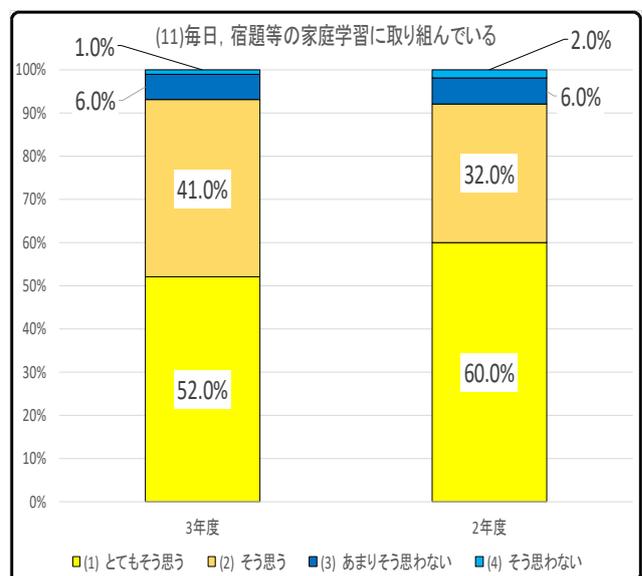
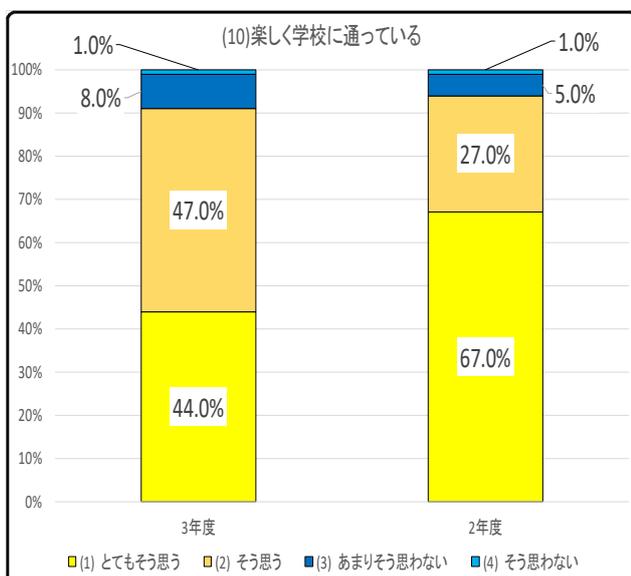
「(13)相手を思いやる言葉や場に応じた言葉をつかっている」(88%)

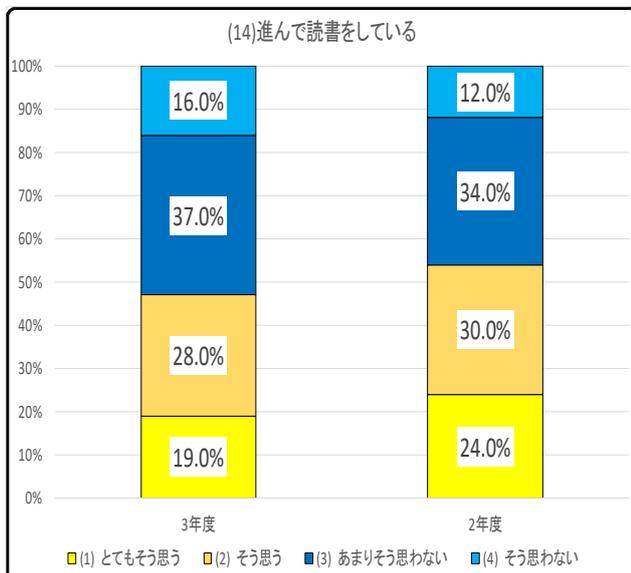
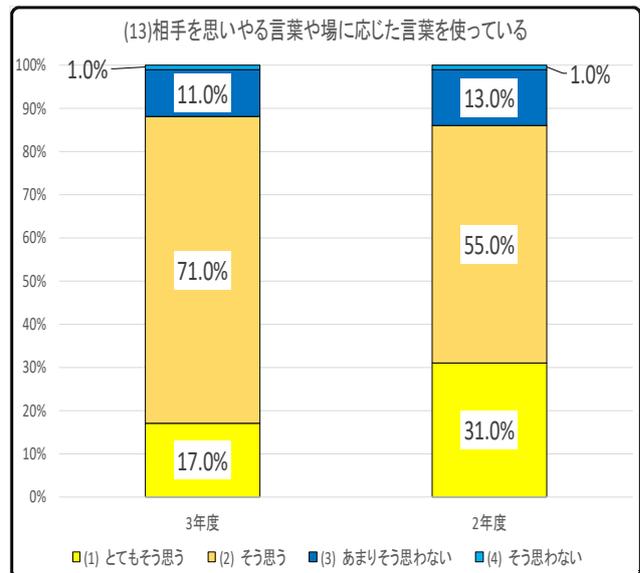
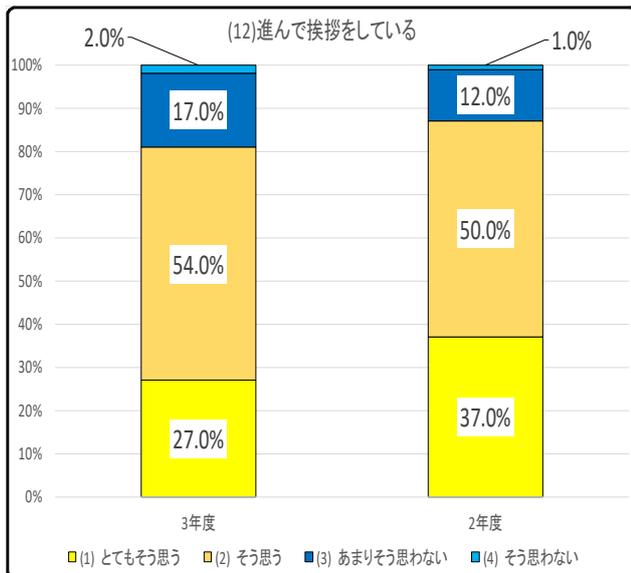
昨年度(86%)との比較で、協働型の重点目標として取り組んできた「あたたかい心」が子供たちの中に少しずつ育ってきたことがうかがえます。それに伴う行動の変容を御家庭でも実感していただけたものと考えます。

●今後に向けて力を入れたい事柄

「(14)進んで読書をしている」(47%)

学校では具体的に年間で40冊を手にとることを目標とし、大多数の児童がそれを達成できました。一方で、家庭ではなかなかその姿を御覧いただけなかったようです。家庭における読書習慣をも定着できるような手だてについて、引き続き検討して参ります。





◇ 自由記述から ◇

こちらでは、本校の教育活動全体についてお寄せいただいた御意見を御紹介します。いただいた御意見・御感想につきましては来年度の教育活動に生かせるように、検討・計画して参ります。さまざまな見地から、お励まし、御意見をいただきましたことに感謝申し上げます。

- ・ 地域の方との関わりが強く、有り難い毎日です。先生方も担任であるないに関わらず、みなさんが真剣に丁寧に子どもたちと向かい合ってくださっていることが、とても心強いです。
- ・ 子供にトラブルがあった場合の対応が迅速で解決するまで、相談に応じて頂けるところが安心できます。
- ・ コロナ禍の中で、さまざまな体験学習や、学校行事などを積極的に催していただきありがとうございます。毎日の授業もそうですが、行事などに一生懸命取り組むことで学ぶこともたくさんあるなど感じております。計画や指導の負担がある中で頑張っている先生方、職員の皆様に感謝しております。
- ・ 低学年に関してはもう少し大人の人手を増やして個の対応を充実させていく必要があると思う。お母さん先生や学校内でボランティアで動ける大人を分かりやすく募集したらどう

か(コロナの状況をみて))

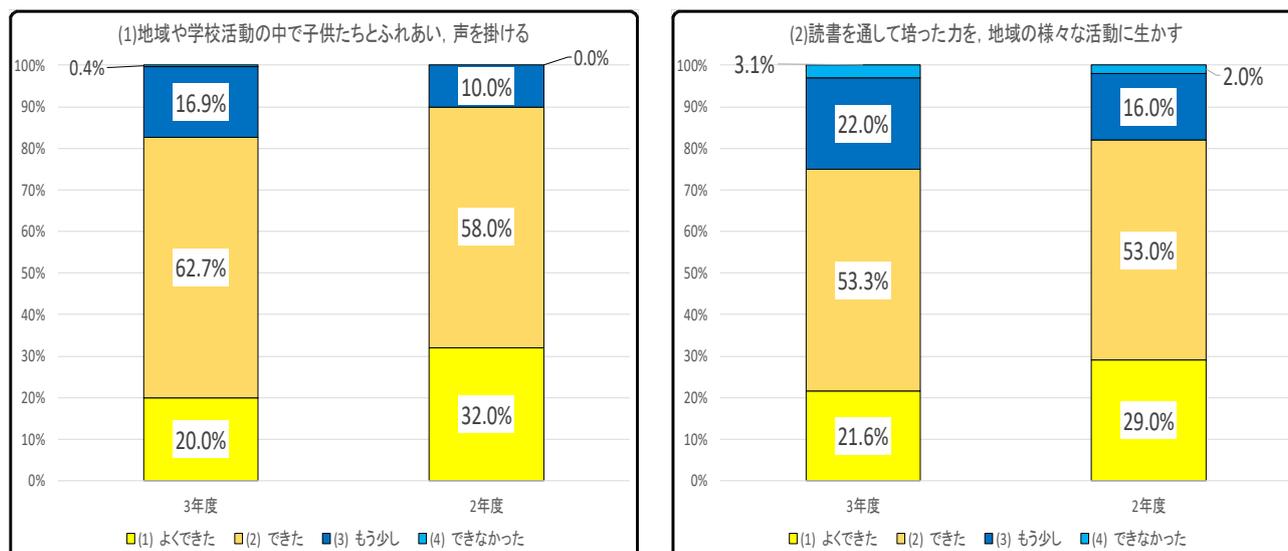
- ・ノーメディアやうまい弁当、オオムラサキの観察など多くの活動を通して子供にとって貴重な体験をさせていただいているなぁいつも感謝しております。また、いつも温かく見守って導いてくださる先生方、たくさんサポートしてくださっている地域の方々のお陰で、安心して通学できる事、感謝申し上げます。
- ・学力が他校に比べたら低いと思います。学力が向上出来るように指導してほしいです。
- ・早くマスクを外してあげたいです。苦しくなってマスクをずらすと友だちから指摘されると聞きます。長期の感染対策から生じるストレスへの配慮をお願いします。
- ・子供一人一人にたいして、あたたかい言葉やケアをしていただき、感謝の気持ちで一杯です。先生方の一生懸命に接して下さりありがとうございます。
- ・クロムブックを使用する際の授業の際、視力低下・目の疲労が心配なのでずっと画面を見続けられないよう休憩を入れながらやっていただきたい。
- ・子供は子供なりに頑張っています。先生方も多忙の中、一人一人に向き合ってくれていると思います。
- ・いじめに関して。学校でちゃんと話をしてくださっているおかげか、子供から聞く分にはいじめが無いこと、またそれを誇らしそうに話してくれる子供の様子を見て、嬉しさと共に安心しております。大切な環境作りをして下さってありがとうございます。
- ・先生方が一生懸命子供に対して向き合っている姿を見せているので、それがよい教育活動につながっているかと思っております。
- ・先生方が子供達に対して一生懸命向き合ってくださいています。スマホでなんでもすぐ調べられてしまう今、本に触れる機会が減っていると思いますが、住吉台小学校の読書への取り組みのおかげで本を読むことが好きになったようです。とてもよい取り組みだと思います。
- ・授業についていけない子や集中出来ない子供達や親に対して目に見える何らかの対応や支援があるといいのではないかと思います。
- ・毎日、教科書を全部持ち帰りするのは大変だと思います。chromebookがある日は、大人でも重過ぎると感じます。月曜日はchromebookと体操着を持っていくので低学年には可哀想に思います。ぜひ、その点について改善して頂きたいです。
- ・人に対する態度、言ってはいけない事、してはいけない事を理解させ、みんな仲間だと言う認識と、相手の気持ちになって考える事を学んで欲しい。大きなトラブルは親が知らないという事は無いようなして欲しい。
- ・来校が少ないので難しいかも知れませんが、何かあったらカウンセラーに相談から、普段から気軽にカウンセラーと話す機会があると、何かの時に相談しやすい気がします。
- ・いつも感染予防対策ありがとうございます。大変難しい相談だと思いますが、先生方のマスク姿での学習方法に、他の方法はないかなあと思いました。大人でもマスク越しでの発言は少し聞き辛く、先生の表情ももっと見やすいと良いな…と個人的に思ってしまいました。マスクは感染予防対策において1番大事な事だと十分承知しております。ですが授業中だけでも先生のアクリル板の設置フェイスシールドの着用など、先生の表情が見えるような、学習方法もなにか無いかな…と個人的意見でございました。いつも誠心誠意の対応ありがとうございます。
- ・大人数を増やすべきだと感じます。
- ・常識だけでなく心強く生きられる術を学んで欲しい
- ・校長先生を始め先生方の 子供に向き合う姿勢や助言 行動が、子供達の明るくたくましい将来に繋がるものだと思います。又子供同士が集団生活をする上での 見守りや叱咤激励がとても良く出来ているのではないかと思います。
- ・学校以外でも元気に挨拶をしていけるといいなと思うので、周りの大人達も気持ちよく挨拶していきたいと思います。
- ・先生が休み時間に一緒にあそんでくれたり、見守ってくださるところ
- ・授業の質の向上をお願いします。

- いつも温かな指導をしてくださりありがとうございます。友達関係に親としても悩んだり、疑問に思うこともあります。その都度早い段階で対応してくださり、担任の先生には感謝しています。ありがとうございます。挨拶に関しては、何度挨拶をしても、知らんぷりする子もなかにはおります。挨拶の大切さは継続して伝えていただき、今後の生活が豊かになれば良いと思っています。最後になりますが、このような新しい生活様式が求められる中、いつも子どもたちが通学することが楽しいと思えるような環境を作ってくださいありがとうございます。まだまだ大変なことも多いかと思いますが、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。
- 挨拶をしっかりしている。
- 赤ちゃんの頃から絵本の読み聞かせはしていましたが、小学生になってから、図書室で本を読むのがとても楽しいようで、以前にも増して本が好きになりました。学校でたくさん本に触れているためだと思います。ノーメディアやお弁当デーなど家庭でも親子で話し合ったり触れあったりする時間を作る取り組みは、私たちにもとても良い時間を過ごせていると思います。
- 個別に配慮して頂き感謝しています。
- 読書の量が多くなったおかげで、相手の立場に立って考えられることが増えた印象があります。
- ノーメディアは学年があがるにつれて、インターネットの利用やクローンブックを理由に中途半端になってます
- 日頃より、ご指導いただきましてありがとうございます。高学年になるにつれてゲームをする時間が増え、それに伴い、言葉遣いも乱暴になっています。子ども社会の中に子ども達なりのルールや同じようにしなければというような意識があると思いますが、言葉によっては傷つけたり、悲しませたりすることがあるということを考えてほしいなと思っています。ゲームとの付き合い方は家庭だけではどうにも出来ないところまでできているのかなと感じています。ゲームとの付き合い方、言葉遣いどちらも家庭、学校ともに伝えていけたらと思います。
- 学校で沢山の活動をしていただいています。それによって子どもが影響され、進んで動くという姿には至っておりません。受け身ではなく、自発的に物事に取り組めるような声掛け等、どうしたら良いのかと思うところです。本を年間40冊にしても、それさえクリアしてしまえば、それで終わりという感覚があると思います。
- いじめがあると今まで一度も聞いた事がないので、これからも人の事を思いやる気持ちを持てる教育をお願い致します。
- 多方面から小学校への介入があり、たくさんの人に愛されていてとても素敵な小学校だと思いき感謝です。もう少し学力の方も上がってくると最高だと思います。

地域アンケートの結果から

回答数20

1 協働型学校評価の重点目標について



* () 内の数値は「よくできた」「できた」という肯定的評価の割合です。

◇「(1) 地域や学校活動の中で子供たちとふれあい, 声を掛ける」(82%)

長く続くコロナ禍にあり, なかなか直接子供たちと関わっていただく事が難しい状況ですが, 登下校の見守りなどの際に, 温かなお声がけをいただきました。

◇「(2) 読書を通して培った力を, 地域の様々な活動に生かす」(75%)

抽象的な質問となってしまいましたが, 柔軟に評価をしていただきました。放課後子ども教室, 防犯ボランティア, 各種地域活動など, それぞれの活動の場において, 意義付けをしてお取り組みいただきました。

2 学校の取組について

○全体的な結果から

すべての項目に関して, 多数の肯定的評価(平均92%)をいただきました。

◎成果と考えられる事柄

「(3) 教育活動や子供たちの様子を分かりやすく伝えている」(93%)

ホームページやお便りの他に, 運営協議会の設置, 防犯連絡会の実施, 小中連携を核とした地域ぐるみの活動推進などについて評価をいただけたものと考えます。

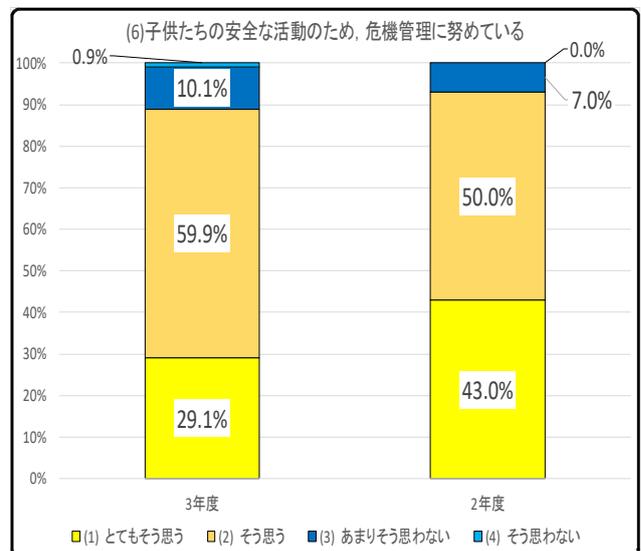
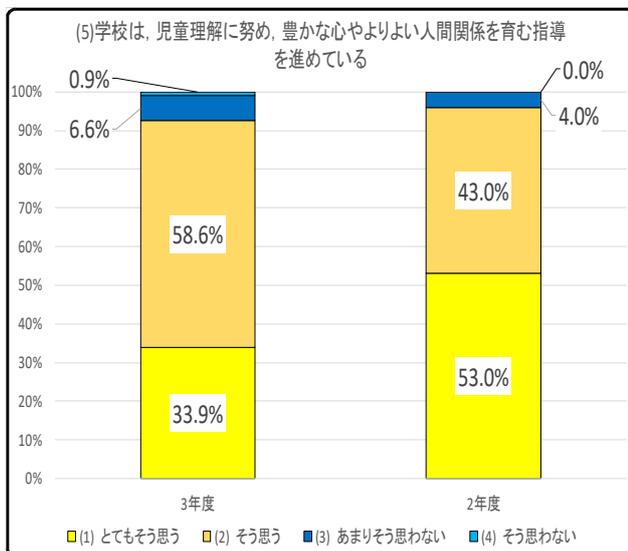
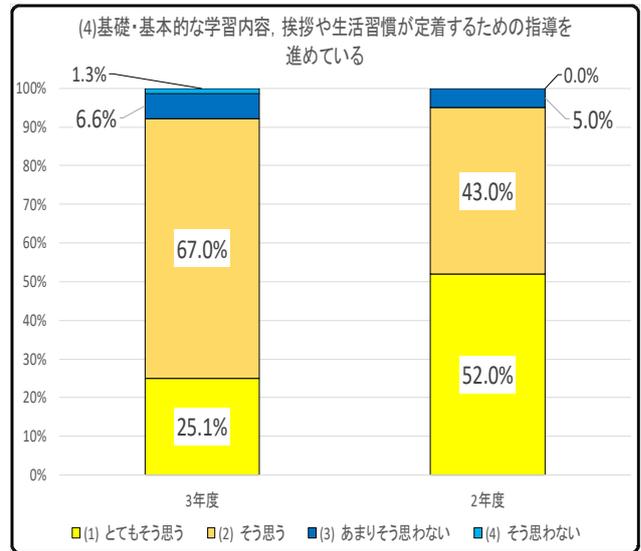
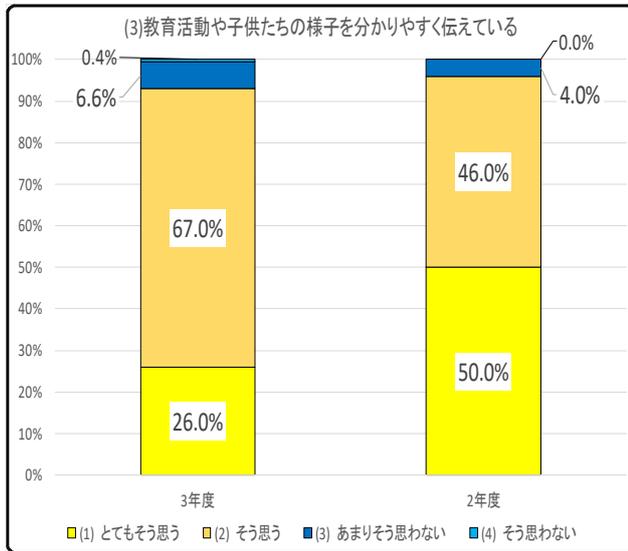
「(4) 基礎・基本的な学習内容, 挨拶や生活習慣が定着するための指導を進めている」(92%)

地道な活動になりますが, すべての基礎となる事柄です。職員一同で丁寧に取り組んで参りました。

●今後に向けて力を入れたい事柄

「(6) 子供たちの安全な活動のため, 危機管理につとめている」(89%)

通学路における横断歩道や歩車分離式信号機の設置など, 連合町内会様にもお力添えをいただきました。各者と情報共有をさらに進めていくことで, 現代の子供たちを囲むさまざまな安全面でのリスクを低減していくことが肝要と考えます。



3 子供たちの様子について

◎成果と考えられる事柄

「(9)子供たちは、地域行事や地域の方と関わる活動に進んで参加している」(95%)

地域では学校以外の場で、児童が居場所を得られるような、さまざまな取組を提案し、進めていただきました。それらの場を通して、顔の分かる関係作りが進むことで地域の担い手として子供たちの育成が図られています。

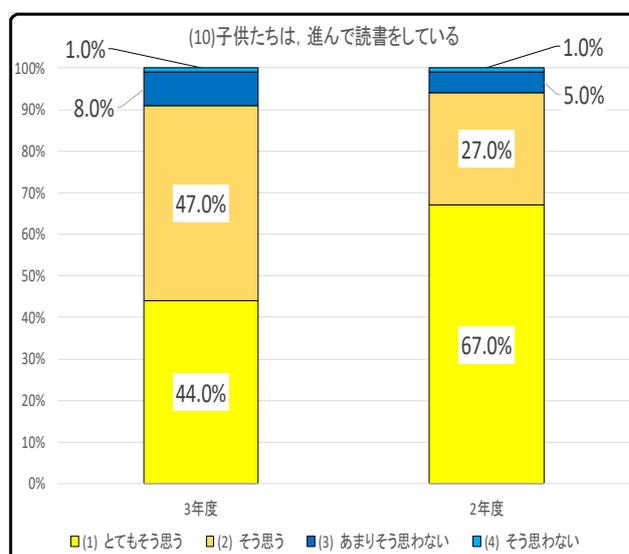
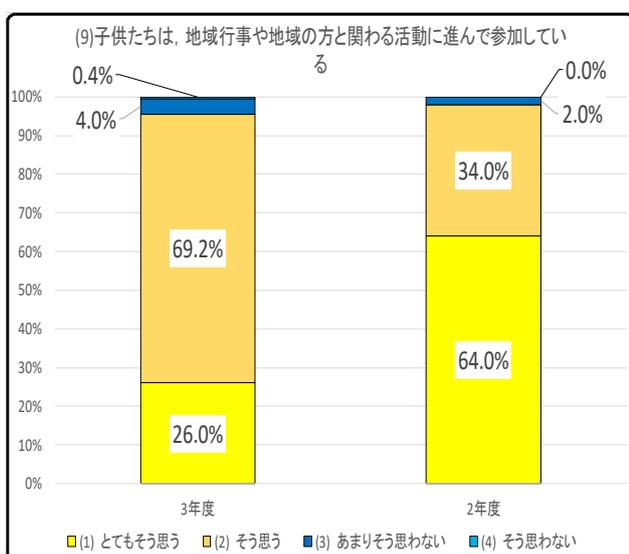
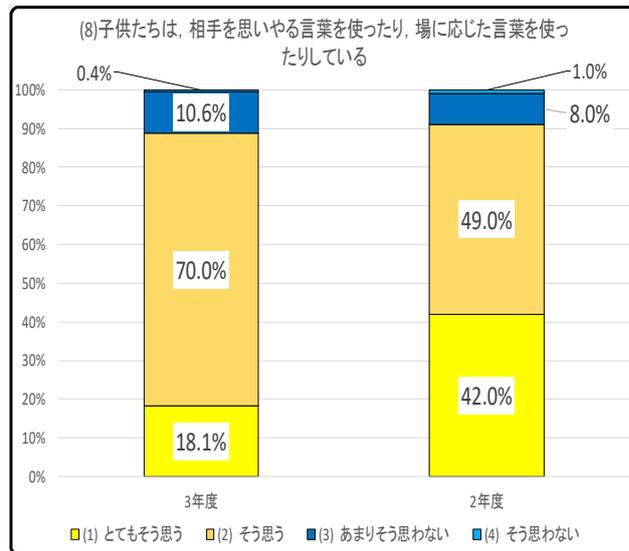
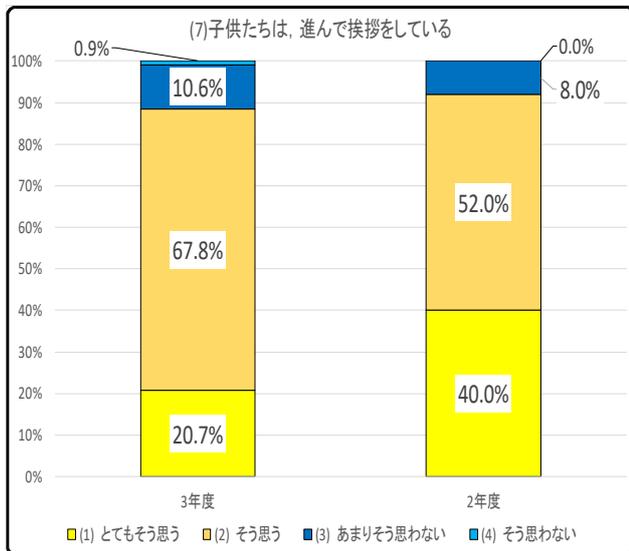
「(10)子供たちは、進んで読書している。」(91%)

具体的な目標を設定したことで、その取組が子供たちの生活に定着しつつあります。

●今後に向けて力を入れたい事柄

「(7)子供たちは、進んで挨拶をしている」(87%)

挨拶をするという意識は育ってきていますが、「知らないからできない」「はずかしい」という表れもあります。発達段階に応じて、住吉台の地域で挨拶をし合う、あたたかな関係をこれからも声掛けを続けます。



④教育活動全般について

学校と共に学校運営に参画する観点から御意見をお寄せいただきました。

- ・ 児童より先生が率先して私たちに声がけて下さって恐縮します。風通しの良さを感じます。子供達の成長に目を見張り、学校へ来ることが楽しくなりました。地域の人とも学校を通して交流でき、住吉台に住んでいることを嬉しく感じています。
- ・ 先生方、PTA役員さん、親御さんたちが見守っている中で、すくすく育ってきた素直な子どもたち。さらなる成長が楽しみです。
- ・ 現在はコロナのため、活動が制限されていますが、子供たち学校失敗を恐れず、思いきり活動できる環境を作っていただきたいと思います。
- ・ コロナ禍でも、学習発表会などの行事を、工夫をこらして実施されて、素晴らしいと思います。
- ・ 年間40冊の読書の取組とても評価しています。子供と本の世界の架け橋をしたいと思ひ読み聞かせを続けています。本を読むことはとてもいいことだと思っています。本を通して視野を広げてほしいと思います。
- ・ コロナの為、活動が制限される中、活動をささえていただいてありがとうございます。学校以外でも子ども達にあいさつされる事も多く、横断歩道を譲ったときの会釈は、本当に

- 心があたたかくなります。
- ・ 残念ながら、コロナの影響で、子供たちは地域の行事に参加することもできず、貴重な体験をする機会が失われたようです。それでも、学校は大変頑張っていて、その様子もまめに発信されていたのでありがたいと思います。住吉台は学校を応援する体制が整っているところだと思いますので、コロナが収束したら、私もまた力を尽くしたいと思っています。
 - ・ 私は小中学校は体力を付けその後の基礎を造るべきと考えています。文武両道でも、幾分、武の方に力を入れてくださると嬉しいです。
 - ・ 地域住民の住吉台アイデンティティを強く感じます。次世代に期待。授業参観して「あたたかい校風づくり」先生方の姿勢に敬意。
 - ・ 毎日のように学校の周囲を両校長先生が歩かれている姿は教育活動その物です。
 - ・ 小学生の課程の中で年齢が一桁から二桁になります。二桁になることは大人への入口に入ったということ。人生のほとんどは二桁の年齢で過ごします。5年生、6年生には大人への入口に入ったことの自覚を学校やそれぞれの家庭で持たせてもらいたいと思います。限られた時間の中での学校教育にはおのずと限界があります。その中で職員の皆様が頑張っていることに対し敬意を表します。あたたかい心や未来を切り開くたくましい子供たちを育むには学校での教育と更に大事なのは家庭での教育ではないかと考えます。子供は親の宝であると同時に地域や日本の宝でもあります。教育現場はもとより、子供たちに対し親と地域の人があたたかい心で接することが必要だと思います。私の朝の活動の中で、感じたことは多くの子供たちが大きな声で挨拶するようになりました。まだという子もいます。その中でルールや約束事を守るべき保護者が子供と一緒にルール違反しているのを見たとき(学校の正門前で)子供だけへの教育だけではないと感じました。朝起きた家の中から始まり学校やそれ以外での活動、家に帰り就寝するまでの中で色々な約束事やルールを守らなければなりません。こうしたことの教えは学校の中だけでは全てできません。子供の教育の原点はそれぞれの家庭や周りの大人たちだと思います。私は挨拶は1日の始まりの基本と想着ますので、地域の一人として子供達への声かけをしていきたいと想着ます。心の豊かな子供が育つよう願うとともに教育活動の更なる発展を期待します。
 - ・ コロナで、なかなか子どもたちと関わるのが少なくなっていますが、学校に行くと先生方全員で子どもを見守ってくださっている様子が伝わってきてとても良い雰囲気だと感じています。読書で「想像力」「創造力」思いやりや表現力などを高めていってほしいと思います。これからも声かけをしながら子どもたちを見守っていききたいと思います。
 - ・ 太鼓の活動にご協力頂いていることに大変感謝しております。これからも、微力ながら子供達を地域の目となり、見守りたいと思います。
 - ・ 子供たちは地域の宝でありますので、地域皆で見守りそだたるという意識が今後も必要だとおもいます。子供は学校と家庭と地域で育てるということです。ラップするところは多々ありますが「勉強」は学校で「しつけ」は家庭で「経験」は地域でが基本と想着ます。地域の人たちは学校という少し敷居が高いイメージを持っていますが今小学校で活躍している大勢のボランティアさんのおかげでその敷居が低くなりました。今後の課題は、ボランティア活動を続けていただく人材の確保でしょう。でも、それに関しては小学校PTA役員さんの優秀な人材を利用(協力)していただければ、十分可能でしょう。地域の人が学校に出入りすることで、より多くの目で子供たちを見守れることになり、いじめや事故の抑止力となります。小学校も何かと忙しいとは思いますが、今後もボランティアさん達がより良い環境で活動できるよう、また、ゆるやかに世代交代できます様、変わらずご支援お願いします。
 - ・ 協働型重点目標についてのアンケートなので仕方ないとは思いますが、地域の方にはほとんどが答えの難しい設問だったのではないかと思います。もう少し身近な放課後の様子や共に活動したときのことなどへの感想があっても良いかなど。先生方が日々努力されている姿は目の当たりにしています。授業前の児童への的確な声かけなどもすばらしいと思っています。また、校長室ブログや保健室のブログなどの発信も学校の様子をみなさんに知っていただくことができていると思います。